

「戸惑いと、疑問と、そして…」

ルカの福音書1章 26~38節



皆さんはどう思いますか。御使いがマリヤに「おめでとう、恵まれた方」と言った時、彼女は「ひどく戸惑い」ました。また「男の子を産みます」との言葉には「どうしてそんなことが」としか言いようがありませんでした。それでも御使いは「いと高き方の力があなたをおおいます」と重ねて言います。最後は「神にとって不可能なことはありません」。そのように言われたら、あなたならどう答えますか。

①とまどいの中で委ねる

“御使いは、はいって来ると、マリヤに言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。しかし、マリアはこのことばにひどく戸惑って、これはいったい何のあいさつかと考え込んだ。すると、御使いは彼女に言った。「恐れることはありません、マリア。あなたは神から恵みを受けたのです。見なさい。あなたは身ごもって、男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。…” 28-

“マリアは言った。「ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。」” 38

②わからない中で心に留める

“シメオンは両親を祝福し、母マリヤに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対を受けるしとして定められています。剣があなたの心さえも刺し貫くでしょう。…” 2:34-

“するとイエスは両親に言われた。「どうしてわたしをお探しになったのですか。わたしが必ず自分の父の家にいることを、ご存じなかったのですか。」…母はこれらのことのみ、心に留めておいた。” 2:49-

③十字架のもとに立ち続ける

“イエスの十字架のそばには、イエスの母と母の姉妹と、クロパの妻のマリヤとマグダラのマリヤが立っていた。” ヨハネ 19:25

④交わりの中にあり続ける

“彼らはみな、女たちとイエスの母マリ亞、およびイエスの兄弟たちとともに、いつも心を一つにして祈っていた。” 使徒 1:14

“それから、マリヤは立って山地にあるユダの町に急いで行った。そしてザカリヤの家に行って、エリサベツにあいさつした。…” 38